

みんなで考えよう市町村合併<sup>12</sup>

まちの将来像を考える

# 新潟都市圏ビジョン

## 新潟都市圏総合整備推進協議会による提案

- ① 活力ある産業が展開するまち
- ② 多様な交流ができるまち
- ③ 自然と共生できるまち
- ④ ゆとりと潤いのあるまち
- ⑤ 一人ひとりの思いを受けとめるまち

### 目指すべき都市の姿



このビジョンは、任意協議会とは別の団体が提案したもので、任意協議会では、合併後の姿についてこれから話し合いが行われます。

**都市の骨格と発展の方向**  
 ビジョンでは、都市内の各地域の役割や連携による発展の方向が示されています。  
 上の図は、都市の骨格や地域の拠点などを表したものです。

**都心および都心周辺部**  
 都市機能の集積を図り、都市圏の発展を先導する。

**地域拠点**  
 各地域ごとの発展拠点としての役割を担う。

**発展・連携軸**  
 都心と地域拠点を結び、市街地の拡大および機能整備を図る。

**地域拠点連携軸**  
 各地域拠点を横に連結し、連携を強化する。

**多機能型農業振興地域**  
 発展・連携軸間に広がり、農業の担う多面的な機能を発揮する地域。

このうち、発展・連携軸は東西南北に分かれていて、新潟市は東部軸に属しています。



今号では、新潟都市圏総合整備推進協議会が七月に発表した「新潟都市圏ビジョン」を紹介し、このビジョンは、新潟都市圏の将来像を考える上で一つの提案として示されたものです。先ごろ新潟市が加入した任意協議会（新潟地域合併問題協議会）では、今後行政制度に関する比較・検討を行うとともに、政令指定都市の実現を含めたまちの将来像についての検討も進められていきますが、このビジョンも参考にしながら、具体的なまちづくり計画について話し合っていくことになっています。

**新潟都市圏総合整備推進協議会とは**  
 この協議会は、新潟都市圏のあるべき姿を調査・検討するため平成五年に発足したもので、新潟市のほか新潟市、両津市、白根市、豊栄市、聖籠町、横越町、亀田町が参加しています。そこでの「政令指定都市を目指すことが必要である」という検討結果に基づき、新しい都市全体の方向を提示し、地域別の都市機能を具体化した新潟都市圏ビジョンを今年の七月に発表しました。ビジョンの策定にあ

**政令都市性**

- ・人口集積
- ・都市機能の集積
- ・多様な産業集積
- ・多様かつ活発な交流

**田園型政令指定都市**

**田園都市性**

- ・豊かな自然環境
- ・快適な居住環境
- ・人や環境にやさしい都市機能配置
- ・広大な農地と農業

たつては、両津市を除く七つの構成市町のほか、小須戸町、西川町、味方村、月潟村、中之口村も参加しました。

**ビジョンにおける将来都市像**  
 同協議会では、将来都市像として「田園型政令指定都市」を提案しています。これは、大都市としての特性「政令都市性」と、新潟都市圏の大きな特性である「田園都市性」という二つの特性が調和・共存した都市です。そしてこの政令指定都市は、日本海側の中枢拠点、環日本海地域の国際交流拠点としての発展を目指しています。



**都市圏ビジョン策定市町村**

新潟市	新潟市	白根市
豊栄市	聖籠町	小須戸町
横越町	亀田町	西川町
味方村	月潟村	中之口村